

HW ELECTROが一般社団法人日本防災教育振興中央会と業務提携を締結 災害時のエマージェンシーツールとしてEV商用車「ELEMOMO」を導入 防災備蓄品を荷台に装備した移動式エネルギー源として活用

HW ELECTRO株式会社（本社：東京都江東区青海、代表取締役：蕭 偉城（ショウ・ウェイチェン））は、一般社団法人日本防災教育振興中央会（本社：東京都千代田区、代表理事：仲西宏之、以下「防教」と）、2021年6月24日（木）に業務提携を締結致します。両社は「思いやり社会を世界へ」を合言葉に、地震や台風などの自然災害時において“本来救える命を救う”ことを目的とし連携して参ります。



※画像はイメージです。

ELEMO
EMERGENCY KIT

具体的な活動として、防教は、5年以内を目標に全国30,000箇所以上に即日運用可能な民間緊急避難所の確保と防災備蓄品を用意し、地域の方々と共に最低年1回の設置訓練を行うことで災害に備え基盤を整えます。

HW ELECTRO株式会社は、その実現に向け、防災備蓄品を荷台に搭載した多用途小型電気商用車「ELEMOMO」を、「IoT 機能付きエマージェンシーツール」として、そして「移動式エネルギー源」として、企業や各都道府県の自治体と協働して機能させて参ります。

HW ELECTRO株式会社は、今後も「環境問題」と「社会貢献」への視点から「Electric - Mobility - Innovation」を推進し、本業務提携の活動の輪を全国に展開してまいります。

■ HW ELECTRO 株式会社とは

経済性、優れたコンセプトとデザイン、環境問題に配慮し、IoTによるAIを駆使した集中管理システム等でこれからの時代をリードする多用途小型電気商用車「ELEMOMO」の製造・販売会社です。2021年～2022年の2年間はCENNTRO社から輸入した車両の製造、整備、点検と販売をメインに行います。また、その特徴であるラダーフレームを駆使し、ユーザーの業種業態に応じたHW ELECTROオリジナルの多用途小型電気商用車（軽トラ・軽バン）を独自開発、2022年後半より販売する計画です。

■ 一般社団法人日本防災教育振興中央会とは

理想的な地域防災を実現するためには行政と地域が一体となり考えていく必要があります。しかし、人や物や予算の関係によって行政が現実的に対応出来る範囲は限られます。そこで、その間を埋めようとする目的で私たちの「一般社団法人日本防災教育振興中央会」が生まれました。

行政のみでは現実的に対応しにくい点を改善し、地域住民が連携して大地震や大規模災害を想定し日常の備えが出来るよう、地域に根差した「実践的な地域防災システム」(地域防災力)を構築し、災害に強い地域社会の確立を目指します。そのきっかけとして「防災教育」を推進しています。